

令和6年度第2回 静岡市競輪運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和7年2月4日(火) 午前11時～正午
- 2 場 所 静岡競輪場 メインスタンド4階会議室
- 3 出席者 (委員) 遠藤委員、白鳥委員、浜田委員、
後藤委員、大石委員、望月委員、
内田委員、井上委員、鈴木委員、
和田里委員、野村委員、三浦委員
(事務局) 突田次長、杉山参事、白鳥次長補佐、澤野主任主事
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 題
 - (1) 令和7年度事業計画案について
 - (2) 令和6年度2月補正予算案及び令和7年度当初予算案について
 - (3) その他

6 会議内容

白鳥補佐：

本日は、大変お忙しい中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただ今から、「令和6年度第2回静岡市競輪運営協議会」を開会いたします。

はじめに、お配りした資料の確認をお願いします。表紙に「令和6年度第2回静岡市競輪運営協議会」とある資料と、委員名簿となっております。資料の不足はございませんか。よろしいでしょうか。

なお、本日、大長委員は所用により欠席です。

議事が始まる前に、昨年の12月28日から30日に開催されました、KEIRINグランプリシリーズについて、公営競技事務所長より報告させていただきます。

三浦委員（公営競技事務所長）：

昨年12月28日から30日まで開催しました、KEIRINグランプリ2024シリーズについて、ご協力をいただきありがとうございました。

3日間の結果をご報告します。

来場者数は、3日間の合計で30,495人となり、最終日の30日は19,064人でした。

最終日は入場者数の目標を20,000人としていたところ、約19,000人という結果でしたが、前回の立川競輪場で行われたグランプリでは最終日の入場者が16,000人弱でしたので、前回は上回ることができました。

また、売上は、3日間で約142億1,400万円となりました。前回の立川は3日間で約140億9,500万円ということでしたので、1億2,000万円ほど上回る結果となりました。

なお、12月30日のKEIRINグランプリ1レース分の売上は、静岡が約64億3,000万円、立川が63億1,000万円ということで、この1レースのみを比べても、立川を上回る結果となっています。

3日間大きな事故もなく、開催を終了することができました。本当にありがとうございました。

今後も特別競輪の誘致を目指してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。私からは以上です。

白鳥補佐：

それでは、これより静岡市自転車競走実施条例第7条第7項により、遠藤委員長に議事・進行をお願いいたします。

遠藤委員長：

本日は、大変お忙しい中を、委員の皆様にはご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまKEIRINグランプリシリーズの報告がありました。素晴らしい結果だったと思います。来場したファンも多く、前回の立川を上回る結果だったということで、なるべく早く次の誘致を発表できるよう、我々も協力しますので、よろしく願います。

それでは、次第1の「令和7年度事業計画案」について、事務局より説明をお願いします。

突田次長：

次第1「令和7年度事業計画案」について説明

遠藤委員長：

事務局の説明に対し、質問・意見等ありますか。

大石委員：

資料5ページに記載の、大型映像装置映像送出部はどこにあるのですか。

突田次長：

メインスタンドにシステムを一括して管理している集計センターという場所があり、その集計センター

の中にあります。

遠藤委員長：

その他はいかがですか。

質問もないようですので、続きまして、次第2の「令和6年度2月補正予算案及び令和7年度当初予算案」の説明を事務局からお願いします。

突田次長：

次第2「令和6年度2月補正予算案及び令和7年度当初予算案」について説明

遠藤委員長：

事務局の説明に対して質問意見はありますか。

内田委員：

令和7年度当初予算について、施設整備にかかる債務負担行為が2億8,000万円ということですが、大規模な工事や修繕は、毎年おこなっていくのでしょうか。来年度でだいたい終わりということですか。

突田次長：

今年度は、競走路と選手宿舎であるあおい会館の本館の改修が完了しました。

あおい会館の別館はまだ改修が済んでいませんので、これから改修することになります。また、メインスタンドも30年以上経過していますので、改修をしなければならないと考えています。

井上委員：

資料8ページの債務負担行為について、契約相手方は入札等でもう決まっているのですか。

突田次長：

令和7年度に公募をして決めていきます。

井上委員：

今は日本トーターがやっていますよね。

突田次長：

今は日本トーターがやっていますが、また公募をかけて決めていきます。

井上委員：

応募はありそうですか。

突田次長：

委託業務の内容が多岐にわたる上に、競輪独自のシステム等もありますので、受託できる業者は限られてくると考えています。現在、全国で競輪開催業務を受託している業者がいくつかありますので、その中から応募があるのではと考えています。

三浦委員：

補足をさせていただきます。

現在、全国でも包括委託をしている競輪場が増えてきていますが、受託できる業者は、今説明にもあったとおり、3つか4つだと思います。

業者選定にあたっては、参加要件を設けます。さらに、参加要件を満たした業者の提案に対し、項目ごとに点数をつけ、最も点数の高い1者を委託先として選びます。

令和8年度からの5年間、静岡競輪で抱えている課題等を解決してくれるような業者さんに委託したいと考えています。

井上委員：

業者選定の際には、選定委員会などをやるのですか。

三浦委員：

財政局次長が委員長となる静岡競輪開催業務等一括委託業者選定委員会をつくり、公認会計士さんなどにも委員になっていただいて、業者選定を進めます。

井上委員：

わかりました。

遠藤委員長：

そのほかに質問・意見等ありますか。

質問・意見等も尽きたようですので、続きまして、次第3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

突田次長：

次第3の「その他」について2点報告します。

まず1点目は、特別競輪の申請についてです。

令和8年度の特別競輪等は、グランプリシリーズ及び読売新聞社杯全日本選抜競輪の申請をおこないました。結果が出るのは2月の終わり頃になると思います。

特別競輪に申請する競輪場の数が多いため、毎年開催できるとは限りませんが、引き続き良い提案をしていきたいと考えています。

次に、記念競輪の開催についてお知らせいたします。2月13日（木）から16日（日）の4日間にかけて、開設72周年記念競輪が開催されます。こちらにつきましても、ご協力をよろしくお願いいたします。

報告は以上です。

遠藤委員長：

それでは、ただいまの事務局の説明を含め、これまで全体をとおして質問・意見ありますでしょうか。

野村委員はいかがでしょう。

野村委員：

先ほど内田委員からご質問がありました施設の修繕についてですが、現在、公営競技事務所が、年度内の完成を目指し施設修繕計画を準備しています。今後、細かい修繕や大規模修繕も必要になりますので、ある程度将来の見通しを立てることが重要だと思っています。

それから予算につきましては、今年度はグランプリもあったということで、一般会計への繰出しを多くしてもらいました。最終的には7億円ということで、一般会計としては大変助かっています。これからも売上げが上がることを期待しております。

来年度の繰出金については、これまでは3億円だったところ、来年は予算額を4億円としていただいております。財政局としてはほかの予算を組むのに役立っています。これからも売上向上のために頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。

遠藤委員長：

他にどうですか。

意見等ないようですので、これで終了します。

それでは進行を事務局へお返しします。

白鳥補佐：

遠藤委員長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さまにおかれましても、ご審議ありがとうございました。

これもちまして、令和6年度第2回静岡市競輪運営協議会を閉会します。